



今年創立100周年

同窓会長 佐々木 正行 (高17回)



2024年4月1日より岩高創立100周年目に入りました。

同窓会としては5年前より記念事業実行委員会を立ち上げ準備をしてきましたが、3年間は新型コロナウイルス感染症に阻まれ休止せざるを得ませんでした。

昨年5月より5類になり生徒も文化祭・クラスマッチ・修学旅行等、何とか出来るようになりました。実行委員会も遅ればせながら昨年6月17日に井出司氏(高57回)による記念コンサートIを佐久平交流センターにて開催。7月1日に岩高祭に合わせ記念講演会Iを本校体育館で、今年

カーリング競技で女子日本代表になったSC軽井沢クラブ所属・上野美優選手(高71回)・上野結生選手(高73回)と当時本校2年生の山本遵選手とオリンピックの山口剛史選手に夢に向かって歩む様子や目標設定の仕方などをお話しいただきました。

10月には100周年記念の総合美術展を開催。会場である佐久創造館が今年閉館予定であった為、前倒して将来岩高を希望する中学生を含め207点の作品を展示し、盛大に開催しました。

今年4月5日には205人の新入生を迎え入学式が行われました。同窓会の新会員でもある新入生に、創立100年の歴史を話しました。

初代校長である佐藤寅太郎先生は信濃教育会でも多変貢献された方です。1924年(大正13年)岩村田町立岩村田

中学校が設立され、1948年学制改革により長野県岩村田高等学校と改称し全日制普通科を置き、翌1949年岩村田城戸ヶ丘高等学校を統合。1961年(昭和36年)工業科設置。2015年(平成27年)工業科が佐久平総合技術高等学校に統合され、岩高も普通科単独校と姿を変えました。

この100年で卒業生は22,000人。全国各地で活躍し母校の名を高めています。記念式典は長野県立武道館にて今年10月5日(土)、コンサートIIと一体化して開催いたします。

尚、記念事業実行委員会が計画しました募金額には達していません。6月30日迄募集しております。

未だ募金されていなかった方も、2度目の方も岩村田高等学校の弥栄と、生徒が益々活躍できるようご協力をお願い申し上げます。



★岩高同窓会の情報は、ホームページから ZOKUZOKU発信★

岩村田高等学校同窓会
 発行人 佐々木 正行 幸
 編集人 中 沢 朝 幸
 佐久市岩村田1248-1
 岩村田高等学校同窓会館内
 TEL 0267-78-3797
 印刷 恵 企 画
 題字は旧中第21回卒 上嶋桂風氏

岩高創立100周年募金のお願い

岩村田高等学校創立100周年記念事業実行委員会
 実行委員長 佐々木 正行
 募金委員長 井 上 隆

同窓生の皆様には、岩村田高等学校創立100周年記念事業募金活動にご協力を賜り深く感謝申し上げます。

令和5年4月1日から開始いたしました募金は、思うように入金が進まず、予定額の60%程度にとどまっております。現状を鑑みて、記念事業実行委員会では事業の見直しを行い、学習環境整備事業、クラブ支援事業を中心に削減、凍結する対応を行っていますが、出来るだけ当初の計画を実現し学びの環境を整えたく考えております。

募金期間は令和6年6月30日までです。まだ、ご入金されてない皆様は是非ご協力いただけますようお願い申し上げます。また、既にご入金された皆様も状況をご理解いただき、追加協力いただけますと幸いです。

入金方法は、振込の場合
 振込先：八十二銀行 岩村田支店
 普通預金 口座番号946721
 受取人：長野県岩村田高等学校
 創立100周年記念事業実行委員会

オンラインの場合 長野県岩村田高等学校同窓会公式ホームページ(URL: <https://www.gansou100.jp/>)の100周年事業募金をクリックいただき、オンライン募金をお願いいたします。

ご不明な点がございましたら、お手数ですが事務局までお問い合わせください。(月・水・金の午前中)

担当 創立100周年記念事業実行委員会
 事務局長：池田 義則
 事務局員：佐々木美由希
 電話0267-78-3797 Fax0267-78-3798
 E-mail s-gansou100@ce.wakwak.com

ご挨拶



学校長 下島 浩伸

同窓会の皆様には、日頃より、母校の教育活動にご理解とご支援を賜っておりますことと心より感謝申し上げます。本校に着任して1年が過ぎ、100周年を迎える記念すべき年に岩村田高校の校長として教育活動に携わることの重みと、同窓会の皆さまとの繋がりが深まることへの期待を感じているところです。

さて、本校にはホームページにも掲載されている「自主的・意欲的で創造性の豊かな人間の育成」を本文とする5つの教育方針があります。これらは、学校重点目標を策定する際に骨子となるもので、本校に着任した昨年4月当初に重点目標の再考を含め、過去の学校要覧から教育方針の変遷を調べました。

校長室に残る学校要覧は昭和41年のものが最も古いもので、5つの教育方針は今のものと全く変わりがありません。内容を、環境の変遷はある中、今から50年以上前に卒業した



第15回佐藤寅太郎賞授与

同窓生の皆さんと在校生が同じ指針の中で教育活動を行っていることへの驚きと、本校が受け継いできた教育の流れ、伝統の重さを感じた次第です。昨年度から始まった100周年の記念事業では、同窓会の皆さまやゆかりの方々とお話をする機会が多々ありました。その折には、第何期生という卒業学年のお話しに加え、初代校長である佐藤寅太郎先生が昭和10年の講話で語った「社会に信頼に足る人物たれ」の言葉が受け継がれてきたことを感じる場面がありました。昨秋の全校集会の講話では「佐藤先生が捉えた社会とは、そして今の私たちの社会は」と少し先の社会状況を読み解く必要性、日頃の探究的な姿勢を生徒の皆さんに問いかけました。今後も本校建学の精神であ

る「社会に信頼に足る人物たれ」の流れを受け継ぎ、社会の変化に柔軟に対応できる力を育むことを意識して教育活動を行ってまいりますので、同窓会の皆様には、今後とも本校生徒の活動にご注目いただき、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。なお、今年度の進路状況等を含め学校の様子はホームページに掲載していきますので、ご覧いただければ幸いです。

同窓会活動協力金ありがとうございます

令和5年4月1日から令和6年1月22日までに304人の方に1,129,055円 いただきました。

一口1,000円の皆様からの浄財は岩村田高校約60名の在校生の学習活動、班活、校内の施設設備など、県の予算でカバーできないあらゆる教育活動にたいへん役に立っています。(同窓会報の会計報告決算をご覧ください) 他校の同窓会のように年会費という形ではなく毎年できるだけ多くのOBの皆さんからの「母校への応援」という

同窓会ニュース

岩高同窓生「慶事・表彰」一覧

ご慶事誠にめでとうございませす。心よりお祝い申し上げます。(事務局にお知らせのあった方)

川上村議会議員当選

(令和5年4月)

渡辺 正氏

(高27回)

趣旨で任意の協力金という体制をとっています。同窓会報に添付の専用振込用紙をお使いになり年間を通して額の多少に関わらず協力していただければ在校生の励みと力になりますのでご理解いただきよろしく願います。尚、同窓会の名を騙って個人情報を引き出そうとしたり、振り込みを誘う事件が後を絶ちません。同窓会では電話を使つてのこのようなお誘いは一切行っておりませんのでご承知下さい。また不明の場合は岩村田高校同窓会事務局にご確認下さいませすようお願いいたします。(事務局)

定期総会のご案内

令和6年度の定期総会を下記のとおり開催します。多くの同窓生のご参加お待ちしております。

- 日時：6月15日(土)
●場所：岩高会館(同窓会館)
●セレモニー：15:00~
●総会：15:30~
●講演会：16:30~
●懇親会(佐久ホテル)：18:00~(バス送迎あり)
●総会の詳細は後日HPに掲載します。

第54回岩高同窓生作品展のご案内

同窓生作品展はOBの皆さんと在校生との交流の場です。この機会に今の母校の様子をご覧ください。また事業部員の皆さんは事業部担当の定例企画ですので、準備・展示中、片付けのご参加をお願いします。

- 開催期間：6月30日(日)10:00~15:30
●会場：岩村田高校本館2F
●募集作品：絵画・書道・写真・工芸・彫刻など、全ての分野の創作作品
●応募締切：6月21日(金)
●搬入日：6月28日(金)
直接会場へ搬入・展示作業。遠隔地から送られる場合は同窓会事務局宛で学校へお送りください。
※出品要項他詳細は4頁をご覧ください。



東都岩高会総会 & 懇親会

- 令和6年6月23日(日)
11:00 受付開始
11:30 開会
●場所：銀座ライオン 7丁目店6Fクラシックホール(銀座シックス隣)
中央区銀座7-9-20 ☎03-3571-2590
●会費：8000円 学生(専門学校、予備校含む)は無料。事前にお申込み下さい。(~6/10迄)
会費は当日受付でお支払い下さい。
●講演：寺尾文孝様(昭和35年卒業)
テーマ「闇の盾」出版にあたって
●総会：2023年・2024年の報告・承認・審議
●懇親会：美味しいビール(未成年はノンアル)と料理を愉しみながら、懐かしい顔や新たな出会い!先輩・後輩・先生等が入り交じり交歓の輪、最後に校歌を皆で唄い盛り上がり

お問合せ tanaka-nsym@s5.dion.ne.jp
小林 080-7021-3097
田中 090-7171-8441

●岩高創立100周年記念式典コンサートⅡ 及び記念祝賀会参加申し込みについて

令和6年(2024年)10月5日(土)14時から記念式典と森山良子氏によるコンサートⅡを一体化して、県立武道館にて開催します。受付開始は13時、参加人数は1500名を予定しています。終了後、記念祝賀会を17時から佐久一萬里温泉ホテルにて会費6000円で開催します。参加人数は200名を予定しています。

参加者の内訳は来賓、生徒(記念式典兼コンサートⅡのみ)、募金協力企業、保護者、同窓生、実行委員(学校職員、PTA、同窓生)です。来賓、生徒、募金協力企業、実行委員は学校・記念事業事務局が参加確認を行います。保護者(実行委員以外)、同窓生(実行委員以外)は下記の要領で参加申込受付を行います。

申込方法

- 1 保護者 記念式典兼コンサートⅡは約100席、記念祝賀会は保護者・同窓生合わせて約50席
 - ・令和6年度在学学生からの保護者からは5月に学校を通じて受け付けます。
 - ・申込人数は1名です。(複数名在籍しているご家庭も申込人数は1名です)
 - ・申込用紙は学校を通じて配布します。
 - ・予定数を超えた場合は抽選とさせていただきます。抽選結果は後日お知らせします。
- 2 同窓生 記念式典兼コンサートⅡは約480席(旧職員含む)、記念祝賀会は保護者・同窓生合わせて約50席
 - ・申し込みは募金協力者に限ります。
 - ・申込人数は1名です。(複数回募金協力者も申込人数は1名です)
 - ・申込期間は令和6年4月1日～令和6年6月30日(必着)です。
 - ・申込方法はメール、FAX、ハガキのいずれかに、参加者氏名、住所、電話番号、同窓生は卒業年、旧職員は旧職員、参加希望内容を記入して記念事業事務局へ申し込んでください。電話での受け付けは行いません。

岩村田高等学校創立100周年記念事業実行委員会事務局 宛
住 所 〒385-0022 長野県佐久市岩村田1248-1
E-mail : s-gansou100@ce.wakwak.com FAX 0267-78-3798

 - ・予定数を超えた場合は抽選とさせていただきます。抽選結果は後日お知らせします。ご不明な点がございましたら、岩村田高等学校創立100周年記念事業実行委員会事務局までお問い合わせください。(月・水・金曜日の午前中 TEL 0267-78-3797)

『岩村田高等学校百年誌』販売予約のご案内

岩村田高等学校は、本年度開校100年を迎えることになりましたが、同窓会では100周年記念事業として「百年誌」を編纂し、下記のとおり販売することになりました。内容につきましては、学校の通史に加え、同窓会やPTAの歴史、会員の回想や各種資料など幅広く掲載しております。また、編集にあたりましては、できるだけ当時の写真を挿入して、見やすい紙面に心がけました。

つきましては、ご購入を希望される方は、下記の通り予約申し込みをいただきますようお願い申し上げます。なお、本事業に **1万円以上のご寄付** をいただける場合には、一冊贈呈させていただきます。

記

- 1 販売価格 4,000円(送料別) 代金納入については、配本時に改めて通知いたします。
- 2 刊行予定 2025年5月～6月
- 3 予約申し込みの方法

◎お名前・住所・連絡先電話(自宅・携帯)卒業した年、注文冊数をお知らせください。

①Eメール 上記の項目を入力して送信

s-gansou100@ce.wakwak.com 同窓会事務局

②FAX申し込み FAX0267-78-3798 上記の項目を記載して送信

③ハガキ申し込み 〒385-0022 佐久市岩村田1248-1 岩村田高校同窓会事務局

4 その他

寄付金の振り込み先 八十二銀行岩村田支店 普通預金 口座番号 946721

長野県岩村田高等学校創立100周年記念事業実行委員会

振り込み手数料を引いてお振り込み下さい。

問い合わせ先 同窓会事務局 電話 0267-78-3797 (月・水・金の午前中)



「装画・柳沢正人氏 題字・神津武士氏」

卒業生シリーズ 23

私の足あと



中嶋 豊 (高23回)

今年が創立百周年の年ですが、私が卒業後も半世紀以上が経ちます。下駄を鳴らして小海線を通った3年間、C組同級生との思い出は語り尽くせませんが、既に他界した人もいる中で健康に過ごせる幸せを感じています。

卒業の方はさっぱりで良い思い出はありませんが、写真班の暗室で、印画紙に浮かび上がる画像に一喜一憂した日々を思い出します。進路選択では、両親の強い勧めもあって本県警察の門をたたきました。警察学校入校初日「気をつけー」の号令とともに生活が一変、一抹の不安を感じつつ警察人生が始まりました。卒業直前の昭和47年2月、連合赤軍あさま山荘事件が発生し、私達も補給班として派遣され弁当運び等に従事しましたが、針のような雪が



舞う中、装甲車に隠れて目にした壁の銃口に恐怖を感じたのを覚えています。初任地の上田駅前交番から退職までに知事部局や警察庁出向なども含め23所属に勤務しましたが、平成22年から佐久、南佐久望月の3署を統合した新佐久署の初代署長として2年間勤務しました。故郷に錦ではありませんが、同窓ということも多く先輩方にお世話になりました。また光栄にも署長として母校の卒業式に参列し校歌を斉唱した時には込み上げるものがありました。

さて私は在職中、総理府青年の船や、山岳救助研修で欧州へ、警察庁から交番制度普及のためジャマイカ、コスタリカへと3度の海外派遣の機会を得ましたが、大変貴重な経験でした。また警察人生の半分近くは山岳救助・遭難防

止対策、県警ヘリに係わる業務に当たり、平成8〜10年には山岳遭難救助隊第9代隊長を務めました。平成25年、地域警察(山岳遭難、航空隊、通信指令課、自動車警ら隊、鉄道警察、交番・駐在所)を担当する地域部長を最後に退職しましたが、その後も長野県消防防災航空隊の安全運航管理幹として防災ヘリの安全運航管理を担当しました。山との関係は現在も続いています。山を通じて知り合った多くの皆さんとの交流、人脈は私の宝物です。また、下手の横好きで始めた山のイラスト地図は1000枚を超え、「信州山歩き地図、長野県の名峰百選いざ!登る信濃の山城」など7冊を出版しました。ご覧頂ければ幸いです。

70余年の人生を振り返り、私の歩んできた道が正解だったかは分かりませんが、残りの人生、悔いのないよう過ごしたいと思っています。



工業科(棟跡地)記念プレート設置

柳澤 眞平 (高25回)



2015年3月で閉科になる工業科を記念し、生徒達が機械科、電気科それぞれの創設年を刻した記念プレートを制作した。

刻み込む文字は小さく複雑になった。型作成を特注し、何度も挑戦するも失敗が続き、専門的技術指導を受けながら粘り強く作業を続けた。「最後の卒業生として岩村田高等学校工業科で培った知識・技術を活かして後世に残るものを制作したい」という強い想いを込めた記念のプレートは2015年2月23日完成。翌月の工業科閉科の



2023年12月25日に説明掲示板と共に設置。設置施工は星野組。費用は71,390円。プレート除幕式が2024年2月9日に行われた。

際、「この記念プレートをいつか校内のどこかに設置して欲しい」と、柳澤同窓会事務局長に託し、校長室に保管された。100周年記念事業の機会に同窓会からの最優先課題としてこのプレートの校内設置が実現した。設置場所は西に旧機械科棟跡地、東に電気科棟跡地の中間位置。この場所は毎年工業科の先生と生徒達が満開のソメイヨシノ桜の前で新年度へ向けて抱負を胸に明るい笑顔で写真を撮る記念の場所でもあった。

第54回 同窓生作品展出品要項

6月21日(金)までに岩村田高校同窓会事務局へFAXでお送りください。(FAX番号: 0267-78-3798)

第54回同窓生作品展記載事項

- 1、氏名・卒業年と卒業回 (例) 岩高 太郎 (昭和48年卒、高25回)
2、住所・電話番号
3、作品種類 (絵画・書道・写真・工芸・彫刻他)
4、作品名
5、サイズ 縦 cm、横 cm

額装には必ず吊り用金具と紐を付けてください。裏面に題名・卒業年・住所・氏名を記入した用紙を貼付してください。

今後の日程

- 1、作品搬入日時と場所: 6月28日(金)13:00~ 岩村田高校本館2階
2、作品搬出・片付け: 6月30日(日)15:30より

同窓会、ゴルフ同好会

4回目となるコンペを開催!

岩村田高校同窓会ゴルフ同好会の第4回ゴルフコンペを令和5年9月29日、佐久市協和にある望月リソルゴルフクラブにおいて開催しました。

当日は38歳から88歳まで、地元をはじめ東京や神奈川、埼玉、群馬など県外からも、合計で29組、101名の参加があり、プレーを通じ世代を超えて母校に対する絆を深めました。

競技終了後にクラブハウスで行った表彰式では、我が母校の校歌や学生歌「大浅岳」が流れる中、ゴルフ同好会の

寺島義幸会長より挨拶があり、宮森武久幹事長から経過報告が、また清水俊之会計から会計報告も行われました。

今秋予定の岩高創立100周年記念大会となる第5回コンペには、より多くの同窓生の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

なお、岩高同窓会ゴルフ同好会の運営は、参加者からの参加費と会員からの寄付金のみで賄っています。

同窓会ゴルフ同好会事務局長
小林貴幸記(高44回)

～岩村田高等学校創立100周年記念大会～

岩高同窓会ゴルフ同好会

第5回 ゴルフコンペのご案内

日時：令和6年(2024年)10月4日(金)
8:00 集合 8:15 開会式 8:30 スタート

会場：望月リソルゴルフクラブ(旧望月東急GC)
佐久市協和3597-27 電話0267-53-6006

- プレー費 7,470円(昼食付)、参加費 3,000円
- 岩高出身の方でしたら、どなたでも1名からご参加いただけます。
- ゴルフコンペ参加のお申し込み、お問い合わせなどは、ゴルフ同好会の事務局まで、なるべくFAXかメールでお願いします。
- ゴルフ同好会の名簿にすでに登録されている方には、8月頃に案内通知や参加申込ハガキを送らせていただきますので、開催日程をご予定いただき、それまでお待ち下さい。

[ゴルフ同好会事務局]

電話 0267-66-7600 (留守電可)

FAX 0267-66-7688

E-Mail kobataka394@bridge.ocn.ne.jp



令和6年 岩高創立100周年 岩高同窓会ゴルフコンペ

同窓会名簿販売のお知らせ

お求めの方は免許証等、岩高同窓会員を証明出来る書類を持参し同窓会事務局に電話連絡の上、お越しください。

0267-178-13797
(月・水・金曜日、9時から12時まで)
販売価格 4,500円



第14回 佐藤寅太郎賞

同窓会会則4条6「文武両道を実践し、模範となった生徒に対して卒業時に初代校長を記念し、佐藤寅太郎賞を授与する。」

3年3組 関谷 彩風
3年1組 松本 比菜

【推薦理由】

共に演劇班所属。関谷彩風は班長(スタッフ専属)。松本比菜は副班長(役者専属)。スタッフ、役者として文化祭公演、東信地区高等学校演劇合同発表会、佐久の演劇祭な

生徒会



生徒会長 片桐 楓人

越えて交流を深めることや、全員で活動していくことに力を入れています。また、100周年という大きな節目にふさわしい活動を副会長という立場から全身全霊で取り組んでいます!



生徒会副会長 山田 怜奈



生徒会副会長 松本 陽真

今年で岩村田高校は創立100周年を迎えます。この節目の年が新しいアイデアや意見で充実した年となり、全校が一丸となって100周年を盛り上げられるように精一杯頑張ります。



とも一学年時より常に上位であり、切磋琢磨し幅広い知識を習得するため日々努力して粘り強い取り組みを見せた。将来は高校時代の経験を活かし、社会で活躍・貢献したいと考え、新しい道へ歩み始めている。

第61回岩高祭

6月29日(土)・30日(日)



岩高祭実行委員長 佐藤 紬芽

創立100周年という大きな節目にあたる年に岩高祭実行委員長をさせていただけることになり、とても盛り上げたいという気持ちと、自分ができるのだろうかという不安があります。ですが、最後までやり遂げて、全校だけでなく、来場してくださった方々にも「楽しかった」「すごかった」と思ってもらえる文化祭を委員と協力して作り上げたいと思っています。

100周年コンサートを通して

吹奏楽班 班長 田中 咲愛

岩村田高校吹奏楽班は、6月17日に佐久平交流センターで行われた、「岩村田高校100周年事業コンサート」にて、卒業生であるテノール歌手の井出司さん、長野県出身であるバリトン歌手の高橋宏典さん、ピアノ奏者の梨本卓幹さんと演奏をさせていただきました。

井出司さんは佐久市出身、岩村田高校を卒業した後に昭和音楽大学声楽科を卒業し、同大学院音楽研究科オペラ専攻を主席で修了されています。その後、2012年から2013年、2015年から2017年にイタリアに留学されていて、



国内外の各地でコンサートに出演されています。日本クラシック音楽コンクール最高位やイタリア声楽コンクール入選などを経て、現在は、佐久演奏家協会や藤原歌劇団員として活躍されています。岩村田高校吹奏楽班は、長野県吹奏楽コンクールB部門東北信地区大会で金賞、県大会で銀賞をいただき、現在は26人で活動しています。

コンサート



このコンサートでは、佐久市民の歌の「佐久・わが市(まち)」と岩村田高校の校歌と一緒に演奏させていただきました。プロの歌手の方との演奏は私たちにとって、初めての経験でしたが、歌声と楽器の音には通ずる部分があり、

貴重なものになりました。私たちも司さんのように、伸びやかな演奏ができるようになってみたいと思いました。同時に、ステージから見える同窓生の皆さんの楽しそうな表情は最高で、音楽の素晴らしさを改めて感じました。司さんのとても優しく、

岩高創立100周年記念事業(2023年開催)

100周年への思い

美術班 石川 舞

岩村田高校創立100周年を迎えるにあたってこういうような美術展をやるよと言われたとき私は何を描けばいいか、100年という長い年月を表すことができるものは何かとても悩みました。

100周年記念総合美術展では私自身初めて油絵で一作描きあげたものを展示しました。初めて触る画材だったので顧問の先生と話し合いながら手探りで自分のやり方を見つけて描いていきました。初めて使う画材ということもあって自分が描きたいもの且つ100周年にふさわしいもののようにと思い、私は自宅から撮影したまんまるい朧月を描き、テーマは朧月夜に



に残るたくさんの方のたくさんの方の思い出やたくさんの方の出来事が積み重なっていると見立ててこのテーマにしました。満月の朧月夜のも100周年にあっているのではないかなあと思います。私はまっさらな状態から一作書き上げたのですが一つの作品を描き上げるのに油絵の具を使ったりというのもあり時間がかかってしまいました。もう少し早めればもっと細かいところまで

総合美術展

描けたかなと思いました。しかし、乾くのが遅い油絵で描いたことにより制作時間が少なくなってしまう代わりに絵について考える時間が増え普段描く絵よりも考えを深めながら描く事ができました。

100周年記念総合美術展をきっかけに新しい画材を使用して絵を描くことができたし、岩村田高校は100周年を迎えるんだという心構えもできたと思います。また、自分だけの表現方法も勉強できました。このような自分の作品を作成して展示し誰かに見ってもらう機会を頂けて自分の技術力の向上にも繋がりましたし、こういう機会がなくても自分の作品を常に描き自分自身の成長を辞めないようにしようと思いました。とても良い経験になりました。



朧月夜

岩村田高校は今年度創立100周年を迎えるので100周年にふさわしい作品を創れるように一年間頑張ろうと思いました。

講演会を聞いて感じた事

市川 寛人

僕はこの講演会に参加する前から奥山圭一先生について知っていました。

その理由は、奥山先生が僕の住んでいる佐久穂町に一度講演に来ていただいたことがあったからです。僕はその時の講演には参加しませんでした。父が講演があると知ると昔を懐かしむような表情で、奥山先生は子供の頃とても仲の良い幼馴染だったということとを教えてくださいました。そんな事もあつてかこの講演会がどんな講演会になるかとても楽しみにしていました。



JAXAの小惑星探査機「はやぶさ2」と深宇宙探査機「しんえん2」 ©JAXA

この講演会で感じたことが二つあります。一つ目は、挫折しても諦めない事です。奥山先生はどんな事にも挫折はつきものだと教えてくれました。特に打ち上げた人工衛星が地球に戻ってくる時、パラシュートのワイヤーが弱く切れてしまひ海に着水した際にそのまま沈んでしまひ、回収できなかつたというご自身の体験を教えてくださいました。ですが奥山先生は諦めずに研究を続けていたおかげで、再び人工衛星を打ち上げる機会をいただいたと語っていました。僕はこの話を聞いて諦めずに努力を続けられ、夢や目標は達成できるんだと改めて理解することができました。二つ目は、英語の大切さです。僕は、小、中学校の頃から英語があまりできず強い苦手意識を持っていました。ですが今回の講演会で奥山先生が昔、中東の国に行った際に高校生

だった頃に英語をすっかり学んでいたことで現地の人とスムーズにコミュニケーションを取ることができたと仰っていたので、やはり英語を身につけることが大切なんだなと思えました。講演会が終わった後に、理系の道に進む際は英語がどの分野でも必要になることと英語を理解するには英語の音楽を日常的に聞くのも良い勉強になると教えてい

天下一品講座



奥山圭一氏 (高33回) 日本大学理工学部 航空宇宙工学科教授 H3ロケットによって打ち上げられる人工衛星の話から始まり、人生の教訓を後輩たちに話していただきました。

ただきました。最後にこの講演会で奥山先生から挫折を経験し諦めないことの大切さと、英語を学ぶことの大切さを教えてくださいました。直ぐに進路選択をする時がくるので今回の講演での経験を活かせるように頑張ります。

天下一品講座

小林 陸

私は天下一品講座を受け、奥山圭一さんの1回目と2回目のロケット打ち上げの話が印象に残っています。最初に作られたロケット「HYFLEX」を見事に打ち上げることや空力加熱の耐久を成功させた一方で小笠原沖に着水した時に深海まで沈んでしまったとお聞きしてど



な人でも何事もうまくいくことは少ないと感じました。この時、奥山さんは長い間一生懸命に研究し、開発したロケットが失敗に終わってしまつてとても悔しい思いをして、悩んだと思います。それでもその失敗を真摯に受け止めて、諦めずに研究をして次のロケット打ち上げに繋げようとする強い気持ちがあつたと思います。その気持ちにより、次の大型宇宙往還カプセル「USERS」の開発やロケット打ち上げから着水回収までを成功させることができただのだと思います。これらのことから、誰しも失敗することはあるが、その失敗を振り返つて次に繋げることが大事なんだと分かりました。そのため、このことを班活動や勉強に活かそうと思います。

て次の練習から意識して取り組んでいきたいです。勉強に関しては、高校3年生には大学受験という大きな壁が待っています。自分が志望する大学に進学するために色々な問題を解いてミスを無くしたり、色々なことを覚えなければいけません。私は、奥山さんが「人は誰しも大きな挫折を体験する」とおっしゃっていたように自分が模試やテストで良くない結果を出して悩む時が来ると思います。その時は、諦めずに失敗を成功に繋げることが大事ということを思い出して立ち向かっていけるように頑張ります。最後に将来人の役に立つ機械を作る事に就きたいと考えています。理由は世の中には色々な機械がありますが、人の想像力によって今までにない便利な機械や道具を作り出すことができると思うからです。また、自分で一から物を作るのが楽しいからです。将来、私が仕事をする時には、奥山さんの講座を忘れずに仕事に一生懸命に取り組みたいのです。貴重なお話をしていただきありがとうございます。

令和5年度岩村田高等学校同窓会一般会計決算書

収入総額 4,587,696円 支出総額 3,856,248円 差引残額 731,448円※100周年準備のため繰り越しを多くしてあります
 自 令和5年4月1日～至 令和6年3月31日 岩村田高等学校同窓会長 佐々木 正行

【収入】				
項目	予算額	決算額	増減	摘要
前年度繰越	762,624	598,552	(164,072)	
R5年度生入会金	2,000,000	1,990,000	(10,000)	10,000円×199名分 1名入会拒否
R3年度入学生卒業時納入金	788,000	740,000	(48,000)	4,000円×185名分
同窓会活動協力金	1,200,000	1,150,000	(50,000)	{311名の会員より1,191,241円(前年度より107名減) {今年度は積み立てせず 41,241円は次年度へ
返金	0	100,000	(100,000)	東都岩高会より
預金利息	0	7	(7)	普通預金利息
雑収入	0	9,137	9,137	名簿販売2名・3学年会計残金
計	4,750,624	4,587,696	162,928	

【支出】				
項目	予算額	決算額	増減	摘要
事業費	500,000	736,853	△ 236,853	内訳：卒業生用証書ホルダー172,930円、佐藤寅太郎賞状代20,000円、進路室コピー機リース代161,040円、クラブ奨励金50,000円、天下一品講師謝礼10,000円、徳育会謝礼120,000円、作品展謝礼30,000円等
広報費	2,400,000	2,486,093	86,093	同窓会報印刷代、440,550円、サルト名簿管理、発送代2,045,543円
総会費	175,000	20,000	155,000	プレコンサート謝礼
役員会費	175,000	225,000	50,000	懇親会費補助等
支部補助費	200,000	132,100	67,900	東都岩高会へ送金等
旅費	60,000	68,940	8,940	東都岩高会等
通信費	70,000	33,262	36,738	諸通知葉書代、切手代
事務費	10,000	0	10,000	
慶弔費	50,000	3,000	47,000	ご香典
渉外費	110,000	51,000	59,000	職員餞別代 10名
積立金	400,000	0	400,000	
クラブ振興費	100,000	100,000	0	クラブ活動後援会へ
教育研修費	80,000	0	80,000	
短期海外交流支援費	100,000	0	100,000	
雑費	5,000	0	5,000	
予備費	315,624	0	315,624	
計	4,750,624	3,856,248	894,376	一般口座繰越金 731,448円

監査報告 令和6年3月25日、会計監査を実施した結果、証拠書類、預金通帳等、的確に処理されていることを確認いたしました。

木下 幸江 ㊞

令和6年度岩村田高等学校同窓会一般会計予算書(案)

収入総額 4,723,448円 支出総額 4,723,448円 差引残額 0円
 自 令和6年4月1日～至 令和7年3月31日 岩村田高等学校同窓会長 佐々木 正行

【収入】				
項目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
前年度繰越	731,448	598,552	132,896	R5年度は積み立てせず
R5年度生入会金	2,000,000	2,000,000	0	10,000円×200名分(卒業時に、残金4,000円を集金予定)
R3年度入学生卒業時納入金	792,000	788,000	4,000	4,000円×198名分(現3年生に、残金を集金)
同窓会活動協力金	1,200,000	1,200,000	0	同窓会員より協力金(予想)
預金利息	0	0	0	普通預金利息
雑収入	0	0	0	名簿売上他
計	4,723,448	4,586,552	136,896	

【支出】				
項目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
事業費	1,000,000	800,000	200,000	第53回同窓生作品展、コピー機リース代、クラブ奨励金、卒業証書ホルダー、徳育会他
広報費	2,500,000	2,400,000	100,000	第55号同窓会報印刷代、発送代他
総会費	100,000	150,000	△ 50,000	講師謝礼他
役員会費	250,000	150,000	100,000	役員会補助
支部補助費	150,000	200,000	△ 50,000	東都岩高会他 補助(100周年に向けて支部の活動費)
旅費	70,000	30,000	40,000	支部へ出張等
通信費	40,000	50,000	△ 10,000	諸通知葉書代、電報、切手代、オクレンジャー使用代
事務費	5,000	10,000	△ 5,000	事務用品購入代
慶弔費	10,000	50,000	△ 40,000	香典、弔電、生花、祝儀他
渉外費	60,000	110,000	△ 50,000	歓送迎会寸志、餞別、支部会への役員参加費他
積立金	250,000	400,000	△ 150,000	積立会計へ
クラブ振興費	100,000	100,000	0	クラブ活動後援会へ
教育研修費	100,000	40,000	0	教育研修補助金
短期海外交流支援費	50,000	50,000	50,000	
雑費	5,000	5,000	0	事務手数料
予備費	43,448	41,552	1,896	岩高会館維持費等
計	4,723,448	4,586,552	△ 136,896	

※尚、予算に過不足が生じた場合、正副会長相談の上、一任させていただきます。

令和5年度岩村田高校班(クラブ)活動結果『運動班』

種		目	高校総体予選等(東信)	高校総体予選等(県大会)	高校総体予選等(北信越以上)
バスケット	男子		1回戦上田染谷56-61負け		
	女子		3位	初戦敗退	
バレーボール	男子		6位	初戦敗退	
	女子		5位	ベスト16	
剣道	男子	団体	6位	予選リーグ敗退	
		個人			
	女子	団体	6位	予選リーグ敗退	
		個人			
弓道	男子	団体	2位	2位	予選敗退
		個人	3位・6位	2位	2名決勝進出(北信越) 決勝進出(インターハイ)
	女子	団体	2位	出場	
		個人	出場		
ソフトテニス	男子	団体	6位	初戦敗退	
		個人	ベスト16	北信越大会出場	初戦敗退
	女子	団体	9位		
		個人	2回戦		
硬式テニス	男子	団体	4位		
		シングルス	3回戦		
	女子	ダブルス	2回戦		
		団体	5位		
バドミントン	男子	団体	初戦敗退		
		シングルス	ベスト16(1人)		
		ダブルス	ベスト16(1組)		
	女子	団体	2位	初戦敗退	
		シングルス	ベスト8(2人)ベスト16(3人)	初戦敗退	
		ダブルス	ベスト8(2組)ベスト16(1組)		
卓球	男子	団体	5位	初戦敗退	
		シングルス	ベスト16(1名)	初戦敗退	
		ダブルス	ベスト8(1組)	2回戦	
	女子	団体	優勝	2回戦	
		シングルス	2位・ベスト8(2名)	初戦敗退	
		ダブルス	2位・ベスト8(1組)	初戦敗退	
陸上	男子		学校対抗4位	8種競技5位 三段跳7位	
	女子		学校対抗9位	400m4位	北信越予選敗退
水泳	男子		2年小林大吉郎 50m自由形28.67 100m自由形1.04.07 県大会へ 1年須山権 50m自由形29.11 100m自由形1.04.99 県大会へ	2年小林大吉郎 50m自由形28.67 100m自由形1.03.53 1年須山権 50m自由形29.11 100m自由形1.05.82	
			1年美齊津希愛 100mバタフライ1.10.11 200mバタフライ2.36.11 県大会へ	1年美齊津希愛 100mバタフライ1.08.98 200mバタフライ2.36.32 北信越大会へ	
	女子			200mバタフライ2.36.15 18位 100mバタフライ1.07.68 16位	
サッカー			ベスト8	初戦敗退	
野球			長野県高校野球選手権大会3回戦敗退		

生徒会運動班

クラブ顧問会 運動班代表 柳澤 仁

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類に位置付けられたことによりクラブ活動が普段通りに行える環境が整った。感染症と向き合いながら十分な活動ができなかった3年

間と今年度の活動を通してつくづく実感したのは、クラブ活動の重要性である。岩村田高校生の多くがクラブ活動を学校生活の中心の一つと考えている。生徒たちは活動を通して主体性を磨き、仲間との協調性を身に付け、将来社会で活躍するうえで大切な資質や能力を学んでいく。そしてなにより生徒が高校生活を

「青春」することが大切なのではないかと考える。努力してきた成果を実感すること。願ったような成果を出せず悔しい想いをすること。仲間への感謝を表現すること。こんな青春を経験できるクラブ活動は岩村田高校の生徒たちにとって大切な学びの場である。思いっきり青春させてあげられるよう、学校でもサポートしていきたい。

令和5年度岩村田高校班(クラブ)活動結果『文化班』

班名	活動記録
美術	第47回全国高等学校総合文化祭鹿児島大会 2-2 清水脩平出品 第77回佐久美術展 3-5 碓井颯季 新人賞受賞 第37回小山敬三記念公募展 3-1 山浦由衣 藤花学生証受賞 3-2 岩下ここね 〃 3-2 倉澤風佑果 〃 第45回長野県高等学校美術展 2-4 石川舞 出品 1-1 樋田若菜 〃 1-1 由井胡桃美 〃
演劇	第29回高校演劇サマーフェスティバル (8.23 @シアター 1010) 第40回東信地区高校演劇連盟合同発表会 (優秀賞2席 9.17 @上田市文化会館) 第40回長野県高等学校演劇合同発表会 (優良賞 11.3 @長野県伊那文化会館) 演劇祭「ENJIN」出演 (12.24 @ステラホール) 令和5年度東信地区高等学校演劇連盟春季合同発表会 (3.17 @上田市文化会館) 文化祭公演 (7.2) 
吹奏楽	第45回定期演奏会 (5.21 @佐久平交流センター) 第60回岩高祭定期公演 (7.2 @第一体育館) 長野県吹奏楽コンクールB部門 東北信地区大会 (金賞 7.30 @サントミュージゼ) 長野県吹奏楽コンクールB部門 長野県大会 (銀賞 8.6 @ホクト文化ホール) 千曲錦酒造 秋の大感謝祭出演 (10.14 @千曲錦酒造) 佐久のハーモニーコンサート出演 (12.10 @佐久創造館) 第49回長野県アンサンブルコンテスト東信地区大会 (12.17 @セレスホール) その他、各種学校行事で演奏 
茶道	4月～11月 週2回 (校内・校外)でお点前稽古 7月 文化祭一般公開でお点前披露 
囲碁・将棋	・毎週火曜日放課後、地学室で活動 ・2年生と1年生での対局を継続
ボランティア	・校外ゴミ拾い 月1～2回 ・文化祭 展示発表・点字体験コーナー ・プランター花植え・管理 7月～9月 (生徒自ら行う学習環境整美事業) ・その他 各種ボランティア活動参加 (佐久バルーンフェスティバル、佐久ふれあい広場、軽井沢ハーフマラソン、小諸さずなステーションなど)
文芸	・4月 班誌「新入生歓迎号」 ・7月1日、2日 文化祭にて班誌「文化祭号」 ・9月 班誌「夏号」 ・10月 班誌「3年生引退号」 ・12月 班誌「クリスマス号」 ・2月 班誌「バレンタイン号」
英語	4月～2月週2回程度活動
生物	・グループ別 研究テーマ 「ブルーギルの個体数調査」「希少種キタノアカヒレタビラについて」「自然酵母の利用」「昆虫食」「ハーブの栽培と利用」「軽井沢における野鳥調査」「錯視」 ・全国高等学校総合文化祭県予選「軽井沢における野鳥調査」優秀賞 ・第11回北信越地区高等学校自然科学部研究発表会「軽井沢における野鳥調査」(2月) ・文化祭 研究ポスター掲示、飼育生物の展示 ・その他 飼育生物の世話
書道同好会	・岩高祭 展示会&書道パフォーマンス ・長野県書道展覧会 出品 ・全国書道コンクール ペン字部門 最優秀大賞 受賞 茂木玲花

掃除とパンフレットと班室

文化部長 坂口あかり

5年勤務したこの学校を去ることが決まり、重い腰をあげて音楽研究室の掃除を始めた。一人部屋ということもあり、どうも荷物が増えてしまった。多くの書類を整理するなかで、ある冊子が目に留まったのである。吹奏楽班第40回定期演奏会のパンフレットだ。私が赴任する前年に行われたこの演奏会は記念の年だということで、当時の顧問や生徒たちがボリューム感のあるものを作成したのだ。その中ほどに、班室

についての記述があった。——その昔、吹奏楽班の班室は「掘って立て小屋」のようであり、現在の建物は同窓会に頼み込んで建ててもらった。——建設に至った経緯や同窓会の皆さんのご協力があったことを知り、さっそく生徒に伝えた。まもなく築40年を迎える班室だが、今も班員の練習場所・集う場所として大切に使用していただいている。懐かしいものや自分の知らなかったものに出会えて、掃除も悪くないと思うのであった。

今年度も各班で様々な活動が行われ、大きな成果をあげた生徒が何人もいる。特に、演劇班の東京公演、生物班の北信

越大会出場は記憶に新しい。本校のクラブ加入状況を見ると、全校生徒の約3割の生徒が文化班に所属している。生徒の求めるニーズは多様であるが、本校での活動をとおして、生涯にわたって芸術文化活動に親しむための基礎力やコミュニケーション力を引き続き育ててほしいと思う。

冒頭で述べた吹奏楽班の旧班室は、陸上班の倉庫として現在も使用されており、形が変わってもなお、生徒たちの活動に生かされている。のびのびとクラブ活動ができる環境に感謝し、来年度も各クラブが更に活躍する一年になることを願っている。

学びを“楽しむ”
 3年 山本 遵
 (SC軽井沢クラブ)



私は今、カーリングという競技をしています。昨年までは日本代表も務めており、毎年多くの遠征や大会に参加しています。日本の最前線で日々競技をさせていただく中で、一つみなさんにお伝えたいことがあります。それは、

学ぶということはとても楽しいことであり、時には生きる活力を与えてくれるということです。学びを楽しむことで、何気ない日常がかけがえのない学びの場が変わるといふことを、これからお話ししたいと思います。

今シーズンの中盤、長い遠征生活を行う中で、手首と膝を怪我してしまい、競技から一時離脱しなければならぬ

期間がありました。カーリングをするのを奪われ、私は氣力を失い、心に大きな穴が空いたようでした。私が離脱したことで、チームは3人で大会に参加し、私はただそれを、見ていることしかできませんでした。

そんなある日、チームのトレーナーが落ち込んでいる私に1本の電話をくれ、いろんな励ましをしてくれました。「お前はいつでもカーリング選手だ。選手として、学ぶことを諦めるな。氷からみることも、たまにはいいんじゃないか？」トレーナーは話の中で、そう投げかけてくれました。それは、選手として自信を無くしていた私に、学ぶことの楽しさを思い出させてくれました。

それからは、暗く淀んでいた世界に少しずつ輝きが戻ってきたようでした。不甲斐なげで押し潰されそうになっていた試合をみることも、そこは一転私の学び場が変わりました。今まで氷の上では気づかなかつた、各国の選手の仕草や打球フォームの癖、身体の状態や呼吸から選手の心情を推測し

たりと、私は四六時中分析に没頭しました。さらには普段のチームメイトとの何気ない会話すら、コミュニケーションの練習場のように感じられました。学びという楽しさを取り戻したことで、ピンチは一気に成長のチャンスに変わったのです。

これは全てのことに通ずることだと思えます。もし勉強で伸び悩むことがあれば、たまには気分を変えて遊びに出てみるもいいのかもしれない。まずは学びの楽しさを思い出すが、全ての学びの起源になります。ぜひ知識を得て、どんどん賢くなる自分の成長を楽しんでみてください。気づけば既に、多くのことを学んでいます。皆さんが素敵な学びに溢れる生活を送れることを願っています。



7月1日 記念講演会I

令和5年度卒業生進路結果について
 進路指導主事 飯島 栄一

コロナ禍の下で高校生活がスタートし、前の2学年が実施できなかった修学旅行は何とか行うことができ、3年次には一応はコロナの5類移行ということで普通の生活を過ごせるようになった令和5年度卒業学年でした。そうはいってもまだ感染者もあり、またインフルエンザが流行するなど、「感染症と生きる時代」を実践する日々でありました。若さの柔軟さゆえか、そんな中でも工夫を凝らし、高校生活を充実させていたように思います。

入試関係では大学入試改革の一環で実施された「大学入試共通テスト」が4年目を迎え、各教科とも、前年度の問題をベースにした傾向と対策的な問題集も出揃い、授業中、放課後補習、直前の特別授業において、学校としてできる試験対策は取ることができたと思えます。本校からは昨年同期全体の85%以上の生徒が共通テストに出願しました。苦戦した生徒も少なくありませんがそれぞれに自分の持てる力を発揮してくれたと思えます。

最終的な進路状況ですが、卒業生185名中、4年制大学進学者146名(79%)、短期大学進学者8名(4%)、専門学校進学者21名(11%)、就職者が5名(3%)、などとなっています。4年制国公立大学の合格者は33名(内進学者28名)でした。国立大学の中では岩高の進路指導上の大きなターゲットである信州大学に4名合格し、国立全体では12名の合格で、よく健闘したと言えると思います。また公立大学においては長野県立大学に4名、長野大学に3名、長野県看護大学に2名、公立諏訪東京理科大学に2名、と多くの県内大学合格者を出しました。

私立大学に目を向けると、数年前から私立大学の「入学定員厳格化」の影響で難化が続いておりましたが、昨年あたりからある程度、中堅以上の大学の合格が増えてきている感があり、本年も青山学院大学、法政大学、などMAR

CHレベルの一般入試で合格者を出しています。また、一浪生たちからも吉報が届き、国立の埼玉大学や私立では昨年に続き、慶應義塾大学への合格の知らせをもらいました。1年間の粘り強い努力の積み重ねが結果に見事つながったのだと思います。近年顕著な医療系の学部学科への進学希望は変わらず今年度も高く、経済的に不安定な時代には資格取得、手に職、といった傾向が顕著だと感じます。

3年間の地道な積み重ねと粘り強い努力、あきらめない気持ち、そして入試制度が変化する中、様々な推薦入試制度(学校推薦型選抜、総合型選抜)も積極的に活用することなどで各自の進路希望実現を果たすことができました。

現3年生は様々な面で積極的に一歩を踏み出す指導を掲げており、進路指導も同様です。新しい試みも行っている学年で、どのような結果が出てくるか楽しみなところです。同窓会の皆様方にもまたさまざまな場面でのご支援をお願いします。今後ともよろしくお願いたします。

入試年別合格状況 (2024・R6年4月現在)

Table with columns: 入試年, 2024年, 2023年, 2022年. Sub-columns: 現, 既卒. Rows: 国公立大学, 私立大学, 国公立短大, 私立短大, 所管外大学校, 専門学校・各種学校.

Table with columns: 入試年, 2024年, 2023年, 2022年. Sub-columns: 現, 既卒. Rows: 埼玉工業大, 獨協大学, 文教大, 神田外語大, 国際武道大, 城西国際大, 千葉工業大, 青山学院大, 慶應義塾大, 亜細亜大, 桜美林大, 学習院大, 北里大, 杏林大, 國學院大, 国土館大, 駒澤大, 駒沢女子大, 順天堂大, 芝浦工業大, 昭和女子大, 成蹊大, 専修大, 創価大, 大東文化大, 拓殖大, 玉川大, 中央大, 津田塾大, 東京女子大, 帝京大, 東海大, 東京家政大, 東京工科大, 東京工芸大, 東京経済大, 東京都市大, 東京電機大, 東京農業大, 東邦大, 東洋大, 日本大, 日本体育大, 法政大, 武蔵野大, 武蔵野美術大, 明治大, 明治学院大, 明星大, 立教大, 麻布大, 神奈川大, 神奈川工科大, 鎌倉女子大, 新潟医療福祉大.

Table with columns: 入試年, 2024年, 2023年, 2022年. Sub-columns: 現, 既卒. Rows: 金沢工業大, 長野保健医療大, 清泉女学院大, 佐久大, 松本大, 愛知学院大, 名古屋外国語大, 近畿大, 立命館大, 同志社大, 龍谷大, その他.

国公立大学の合格先 (過去3年間)

Table with columns: 入試年, 2024年, 2023年, 2022年. Sub-columns: 現, 既卒. Rows: 北見工業大, 山形大, 茨城大, 静岡大, 埼玉大, 群馬大, 金沢大, 信州大, 新潟大, 上越教育大, 富山大, 愛知教育大, 札幌市立大, 公立函館未来大, 釧路公立大, 秋田県立大, 群馬県立女子大, 前橋工科大, 高崎経済大, 東京都立大, 埼玉県立大, 福井県立大, 長岡造形大, 新潟県立大, 都留文化大, 静岡県立大, 長野県立大, 長野大学, 長野県看護大, 公立諏訪東京理科大, 富山県立大, 山梨県立大.

所管外大学校

Table with columns: 入試年, 2024年, 2023年, 2022年. Sub-columns: 現, 既卒. Rows: 防衛大学校.

主な私立大学の合格先 (過去3年間)

Table with columns: 入試年, 2024年, 2023年, 2022年. Sub-columns: 現, 既卒. Rows: 国際医療福祉大, 高崎健康福祉大, 群馬医療福祉大, 群馬パース大, 埼玉医科大.

Table with columns: 入試年, 2024年, 2023年, 2022年. Sub-columns: 現, 既卒. Rows: 埼玉工業大, 獨協大学, 文教大, 神田外語大, 国際武道大, 城西国際大, 千葉工業大, 青山学院大, 慶應義塾大, 亜細亜大, 桜美林大, 学習院大, 北里大, 杏林大, 國學院大, 国土館大, 駒澤大, 駒沢女子大, 順天堂大, 芝浦工業大, 昭和女子大, 成蹊大, 専修大, 創価大, 大東文化大, 拓殖大, 玉川大, 中央大, 津田塾大, 東京女子大, 帝京大, 東海大, 東京家政大, 東京工科大, 東京工芸大, 東京経済大, 東京都市大, 東京電機大, 東京農業大, 東邦大, 東洋大, 日本大, 日本体育大, 法政大, 武蔵野大, 武蔵野美術大, 明治大, 明治学院大, 明星大, 立教大, 麻布大, 神奈川大, 神奈川工科大, 鎌倉女子大, 新潟医療福祉大.

国公立短大

Table with columns: 入試年, 2024年, 2023年, 2022年. Sub-columns: 現, 既卒. Rows: 大月短期大.

私立短大

Table with columns: 入試年, 2024年, 2023年, 2022年. Sub-columns: 現, 既卒. Rows: 新島学園短期大, 育英短期大学, 群馬医療福祉短期大, 埼玉女子短期大, 目白大学短期大学部, 新渡戸文化短期大, 長野女子短期大, 上田女子短期大, 清泉女学院短期大, 長野女子短期大, 共立女子短期大.

所管外大学校

Table with columns: 入試年, 2024年, 2023年, 2022年. Sub-columns: 現, 既卒. Rows: 長野県工科短期大学校, 長野県林業大学校.

専門学校・各種学校

Table with columns: 入試年, 2024年, 2023年, 2022年. Sub-columns: 現, 既卒. Rows: 太田医療技術専門, 獨協医科大学付属看護, 横浜医療センター付属看護, 日本工学院八王子専門, 上田情報ビジネス専門, 長野医療衛生専門, 厚生連佐久総合病院看護専門, 長野理容美容, 小諸看護専門, 獨協医科大学付属看護専門, 東京都立南多磨看護専門, 大原スポーツ公務員専門, その他.

かんごさん

作 田中しょう (高25回)



司書	高木 千香	佐久平総合技術(浅間)	司書	高木 千香	佐久平総合技術(浅間)	国語	百瀬 啓司	小諸高校	国語	田村 真	小海高校
副会長兼事務局長	飯田和紀	(数学・高37回・同窓会)	事務	金子 京子	退職	英語	赤羽 徳久	退職	保健体育	相澤 慶弥	
回(神津孝二)	(数学・高38回)	山浦雄介	回(教頭・高41回)	(数学・高38回)	山浦雄介	音楽科	坂口あかり	東御清祥高校	英語	岡本 竜一	岡谷東高校
回(同窓会会計)	山浦 翔	(数学・高65回)	相澤慶弥	(高67回)	大須賀千尋	(数学・高66回)	理事	日高 美奈	小諸商業高校	新規	
野沢北高校	野沢北高校	野沢北高校	事務	萩 準一	野沢北高校	事務	永井 栄	野沢北高校	事務	大田 耕一	佐久建設北部事務所

今年着任された先生方

【野球班 招待試合開催のお知らせ】

長野県岩村田高等学校野球班 OB 会長 菅野 洋
岩高野球班100周年招待試合記念事業実行委員長 中條 泰勝

創立100周年記念事業の一環として、母校への感謝と母校を愛する気持ち、そして後輩へのエールを込めて、野球班 OB 会が主催となり招待試合を開催致します。対戦相手は東京都、二松学舎大学付属高等学校です。東東京代表として2021年2022年の全国高等学校野球選手権大会(夏の甲子園)、2023年選抜高等学校野球大会(センバツ甲子園) 出場と、春7回夏5回の実績を誇る超強豪校です。つきましては、球場を満員の観客で満たすべく、同窓会の皆様にもご家族お友達をお誘いいただき、この貴重な一戦をぜひご観戦いただきながら、現役高校球児たちにエールをいただければ幸いです。

また、記念事業招待試合の趣旨に賛同いただける皆様には、下記をご参照の上、ぜひ運営資金として寄付金へのご協力を宜しくお願い申し上げます。

記

- 日時 令和6年6月2日(日) 雨天中止
9:00 セレモニー 10:00 記念試合 13:00 練習試合
- 場所 佐久スタジアム (7:30~17:00)
- 対戦校 二松学舎大学付属高等学校野球部
- 運営資金へのご協力をお願いします。

目標金額70万円~100万円(5月10日までにお願い致します)
(内訳:夕食代約12万円、宿泊代約20万円、送迎バス約30万円、弁当代約2万円等)

振込先 上田信用金庫 岩村田支店 店番052 口座番号4052258
名義 岩高野球班100周年招待試合記念事業実行委員会
代表 中條泰勝 一口5,000円からお願いします。

お知り合いの方に周知していただき、多くの方のお力で当日は盛り上げていただきたいと思います。宜しくお願い致します。
協賛して下さった方に招待状、領収書をお送り致しますので、下記のQRコードを読み取っていただき、氏名、住所、連絡先、卒業回数(平成5年度卒、平成6年3月卒業は高46回です)を連絡お願い致します。
余剰金が出た場合は、岩高野球班へ全額寄付させていただきます。

岩高野球班100周年招待試合記念事業実行委員会
委員長 中條 泰勝 (高46回)
TEL 090-2552-5268 Mail y-nakajo@m.nagano-c.ed.jp



みすゞ文芸

俳壇 神津 武士 (旧中16回)

初浅間背に百歳のわが母校
多土さいさい育てし母校国の花
卒業子よ道はローマに通じをり
佐藤 勝子 (高15回)

老医師の手書きのカルテ
あたたかし
少子化の里の裏山蟬時雨
冬空へどの木も襟を正しけり
短歌 星野 直人 (高15回)

出土した白歯を前に仰天す
佐久の大地をマンモス闊歩
大いなる力を秘めて鳴りひそむ
大浅岳に勇気をもらう
めつきりと春色帯びた浅間山
はつらつ上る鯉の雪形

個人情報の変更についてのお願い

諸事情(改姓・転居・物故者連絡など)による個人情報の変更がありましたら、正確を期すため、下記の連絡内容をご記入いただき、
①郵便 ②FAX ③メールのいずれかでお願ひします。
(電話での連絡は受けできません。)

①郵便 〒385-10022
長野県佐久市岩村田1248-1 岩村田高等学校同窓会事務局

②FAX 0267-6611450 岩村田高等学校同窓会事務局

③メール hida-k@m.nagano-c.ed.jp

〔連絡内容〕
①連絡者の氏名・卒業年(大正・昭和・平成)、クラス
②新姓・在学時姓名・郵便番号・現住所・電話番号
〔物故者の連絡内容〕
①連絡者の氏名、続柄(家族・役員・同級生・友人)
②連絡者の郵便番号、住所、電話番号
③物故者の新姓、在学時の姓名、物故者の卒業年(不明な場合は住所・生年月日など)
④逝去年月日

※連絡内容に不備がある場合は、生存者のままとさせていただきます。



●記念式典・祝賀会委員会

委員長 高見澤正彦

①記念講演会Ⅰの報告

昨年5月8日より新型コロナウイルス感染症の分類が5類に引き下げられました。その2か月後の7月1日開催とあつて、感染の心配は消えず、全員のマスク着用や座席間隔を広くした形態での講演会でした。

講師陣は、世界で活躍するカーリングチーム・SC軽井沢クラブから男子日本選手権連覇中の山口剛選手と本校在校生の山本遵(2年生)選手、日本初の世界女子Jr選手権覇者の本校卒業生姉妹 上野美優(大学4年)選手・上野結生(大学2年)選手の4人をお招きしました。

『夢に向かつて』をテーマに、カーリング競技を通して様々な緊張や葛藤に直面しながら、一つ一つを克服してさらに高みに挑戦する4選手の実体験を活気に満ちた熱い言葉で語ってくれました。目標設定の仕方や緊張場面を乗り越えるための方法についての話題は、生徒たちの「いま、知りたい! サポートが欲しい点」と一致して興味津々の様子で聞き入っていました。

進行役・山口選手からの最後の課題、「ご機嫌でいることはどんなことに繋がるか」について選手たちからは、「何より楽しくなるし、優しくなれる。」「アイデアが出てくるし、会話が增える。」「幸せに感じ、パフォーマンスが上がる。」などが挙げられ、ポジティブな心の持ち様こそ、自身のエネルギーを蓄え、新しい道を拓く源に繋がることを示唆してもらいました。

講演会の最後には、即製岩高チームとSC軽井沢チームによる模擬カーリング試合が行われ、大接戦で1勝1敗の引き分けとなり、生徒の笑顔と大喝采の中で記念講演会の幕が閉じられました。

②記念式典及びコンサート、祝賀会について

既成の形式から脱皮して、式典とコンサートを一体化した新しい試みに向けて、生徒会役員を中心とした生徒実行委員会も一緒になって中身について研究中です。参加者の心に残る記念事業となりますようご支援・ご協力をお願い申し上げます。

祝賀会

★日時
令和6年10月5日(土)
記念式典・記念コンサート
終了後 開会：午後5時から
会費：6,000円

★会場
佐久一萬里温泉ホテル

※ご出席の皆さんによる会費制で開催したく、大勢の皆様のご出席をお待ちしています。

日時：令和6年10月5日(土)
受付開始：午後1時～ 開式：午後2時～
場所：長野県立武道館 佐久市猿久保 165-1

記念式典、講演会Ⅱ、コンサートⅡを一体化して実施
出演者：森山良子氏

プロフィール

- 日本を代表する歌手であり、女優、タレントとしても活躍
- 「この広い野原いっぱい」でデビュー
- 1960年代後半から1970年代にかけてヒット曲多数
- 1998年長野オリンピック開会式ではテーマソングの「明日こそ、子供たちが…」を子供たちとオリンピックスタジアムで披露し、世界中に放映されました
- 「涙そうそう」「さとうきび畑」など代表曲では数々の賞を受賞



※式典とコンサートを一体化して、『柔軟で斬新な企画構成で参加者の心に深く刻まれる催しを創りあげる』をモットーにして、今後、細部にわたって生徒代表およびコンサート委員会と連携して企画を進めてまいります。

記念式典

コンサート・総合美術展委員会

委員長 鈴木 順子

記念事業の「コンサート」と「総合美術展」につきましては、昨年令和5年度中に、皆様のご協力のもと無事終了いたしましたので、ご報告させていただきます。

○コンサートI

「オペラ歌手 井出 司(H17年卒) コンサート」

開催日時：令和5年6月17日(土) 14時開演

会場：佐久平交流センター大ホール

演奏者：井出 司(テノール歌手 佐久市出身)

高橋 宏典(バリトン歌手 佐久市出身)

梨本 卓幹(ピアノ演奏 千曲市出身)

岩村田高校吹奏楽班

梅雨の合間の清々しい青空が広がった土曜日の午後、我が同窓生の井出司氏をはじめバリトン歌手の高橋宏典氏、ピアノ演奏の梨本氏をお迎えしてのコンサートが華々しく開演しました。3月末より観覧希望者を募集し、応募いただいた同窓生、在校生、学校職員など約300名の皆様はその迫力ある歌声と楽しいトークで、全14曲を堪能させて頂きました。



圧倒的な声量



満員の聴衆

吹奏楽班33名とのコラボ演奏もあり、最後には校歌を会場全員で歌い上げ感動のコンサートとなりました。ご協力ありがとうございました。

○総合美術展

開催期日：令和5年10月23日(月)～29日(日)

会場：佐久創造館

出品点数：207点(賛助出品 60点)

出品者：同窓生、在校生、現・旧職員・中学校美術部

出品種目：絵画・書道・写真・工芸・彫刻等

総合美術展開催にあたり、記念事業のテーマ「歴史をつなぐ」より岩高生の過去・現代・未来をコンセプトに考えてきました。2月より日頃創作活動を楽しんでいる同窓生の皆さんへ開催要項・出品依頼文を送付。6月には第2次出品依頼・出品票など発送、会報へ開催と作品募集の記事を掲載しチラシ配布。佐久市・佐久市教育委員会へも後援を依頼、賛助出品の協力を各小中学校へ依頼。各中学校美術部へは岩高美術班員が母校へと赴き出品協力をお願いに上がる。開幕2日前から、多くの同窓生、在校生の皆さんのお力をいただきながら、会場設営、展示作業。



校歌斉唱

開幕当日、佐久市長、佐久市教育長、創造館長のご来賓を迎えての開幕式・テープカットで開幕。会期中会場では懐かしい方々と談笑される光景も多く、約800名の来場者を迎えて無事閉幕。多くの同窓生の皆様はじめ関係する皆様のご協力により開催できたものと思ひ、感謝申し上げます。

○令和6年「コンサートII・森山良子コンサート」につき

ましましては、記念式典の中に組み込まれるという事で、只今、記念式典委員会・生徒会・学校と共に内容を検討中です。生徒主体の記念式典になりそうです。ご期待ください！



書道班制作の立て看板



最終日、片付け前に記念撮影



創造館一杯の207点



校長先生と生徒も会場設営

総務委員会

委員長 池田 義則

1 庶務部会

(1) 記念酒セットの販売が開始されます。発送を希望された方には5月1日に発送します。来店を希望された方は5月1日～5月31日の間に松木商店へご来店ください。

各銘柄には美術班員によるオリジナルデザインが貼付されます。また、デザインに込められた想いをコンセプト集として箱の中に納めさせていただきます。酒の肴にお加えください。



(2) 新聞広告は10月4日の朝刊に掲載予定です。信濃毎日新聞は東北信カラー版、見開き2ページ。小諸新聞・佐久市民新聞は販売全地域カラー版、見開き2ページ。

地元紙に限定されてしまいますが是非ご一読ください。なお、10月5日の記念式典兼コンサートIIへご参加される皆様には、資料、記念品等と一緒に新聞もお渡しさせていただきます。

2 式典・祝賀部会

記念品の概要が決定されました。生徒用 折り畳み式マホスタンド。同窓生・職員用 クリアファイル。

高26回卒業生 日本画家の柳沢正人画伯による創立100周年記念寄贈絵画を印刷します。来賓・企業用 創立100周年記念オリジナルお菓子。

3 記録・通信・パンフレット部会

(1)、ドローン空撮を行います。日程、人文字図案等企画全般について関係者と検討を重ねています。

(2)、実行委員会通信第3号を同窓会報に掲載します。

令和6年度同窓会報に各委員会の進捗状況を掲載します。記念事業は昨年度からコンサートI、講演会Iが実施されてまいりました。それらの実施報告と現在の進捗状況について各委員会の記事が掲載されます。

記念誌刊行委員会

委員長 上原 美次

岩村田高校百周年記念誌の内容を一部紹介します。

冊数限定で刊行しますので、ぜひご予約ください。一万円寄付で贈呈します。

(中学・高女)

全国唯一、町立の中学と高女を設立

「御牧原運動会」が、軍事教練の場に

長野種馬所の海軍飛行場建設に勤労働員

(戦後)

男女共学になったのに男女別の教室

生徒会長に女生徒が当選し、選挙やり直し

(昭和)

工業科併設 バイク通学の禁止 応援団の廃止

政治運動と服装自由化への対応を経て、生徒指導が変化

就職面接で今は許されない質問が続々

(平成)

工業科分離を決めた学校再編はどう進められたか 佐久平総合技術高校設立 在校生激減 校舍解体

(令和)

コロナ禍の学校生活 岩高が目指す学びの姿

(回想編)

写真班をつくろうとしたら生徒会長になった話 二兎追わずして二兎を得ず 16歳のチャレンジ 岩村田中学併設中学校?



S25.4.13 図書室で生徒会役員による男女共学座談会



昭和のバイク通学

コロナ禍の演劇班2mルール問題行動で取られる「一札」教師群像 176人中の168番からのスタート

「先輩を囲む会」の出会いから医師の道へ

全国制覇を目指した将棋班 社会班 生物班 野球班 陸上 柔道班

(PTA)

強歩大会を支えるPTA 支部廃止と役員選出 バザーの始まり 後夜祭花火を支援

(同窓会) 続けられてきた学校支援 90周年事業 野球班準決勝進出で前日の寄付金集め 佐久総に分離した工業科生徒も岩高同窓会員 東都岩高会 ゴルフコンペ

(資料編) 年表100年分 思い出の品々 思い出の写真

100周年記念事業を後押し

高32回・高33回卒業生還暦記念品寄贈事業報告

高32回・33回卒業生合同還暦記念品寄贈事業では、コロナ禍にも関わらず、約40余名の皆さんから心温まる寄付が集まりました。学校側と協議いたしました結果、

創立100周年記念事業の視聴覚室整備事業に係る机・椅子の購入の一部に利用することが決

まり、2月に校長室において学校側へ贈呈いたしました。ご協力ありがとうございました。

高32回・33回卒業生代表 内藤 勝利



高32回・33回卒業生代表 内藤 勝利



2013岩高祭にだけ現れる軽音班